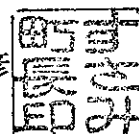




産 建 2 - 5 6 号
平成 1 9 年 5 月 9 日

国土交通省道路局長 殿

すさみ町長 橋 本 明 彦



今後の道路政策を進めるに当たり重点化、優先度の高い政策について

①近畿自動車道紀勢線の早期整備（田辺～すさみ間）

近畿自動車道紀勢線田辺・すさみ間及び南進の早期整備は地域の活性化と暮らしの豊かさの向上を図るためには必要不可欠であります、「災害時における緊急輸送」、「救急医療」などにとって欠くことのできない重要な社会基盤施設であります、安全で安心できる国土整備を図るためにも、高速道路や地域の道路整備は当地域にとりましては重要であります、新直轄事業で整備の決まりました、田辺～すさみ間に付きましてはスピードを緩めることなく、早急に整備を進めていただきたい。

②国道 42 号の整備の促進

高齢化、少子化が進展して過疎の進む地方では人の移動の 9 割は自動車に依存しております、国道は、地域と都市を繋ぐ生活道路として、また地域経済の発展を支える最も基礎的インフラでありますその整備は当地域におきましても長年待ち望んでいるところであります。

白浜～すさみ間におきましても、急カーブの改良、追い越し車線の整備、歩行者空間の整備、バス停留所の設置など、また景観・自然・歴史・文化などの地域資源をいかした観光産業の推進を進めるためにも、地域の課題に的確に対応した道路整備を進めていただきたい。

③国道 42 号の早急な越波対策を

当町を通行する 20.5 キロメートルの国道はその、ほとんどが沿岸部と平行に走行するために、台風時には高波や波浪の影響を受け道路には砂利等が散乱するなど通行支の障になることがあります。

今年も台風の季節に入りますと波浪による障害が発生するものと思われ、国道護岸に消波ブロックの設置が有効な対策をお願いいたします。